

# (7) 大洲・喜多ブロック（大洲市、内子町）

## ～産地づくり～

既存の主力品目の野菜等のほか、当地域を代表する落葉果樹（キウイフルーツ、ぶどう、くり、かき等）の生産体制強化に加え、新たなマーケットの開拓など、出口を見据えた取組を進め、産地ブランド力の向上に努めます。また、適地適作を基本とし、省力化や集約化を積極的に推進し、収益性の高い品目導入や栽培技術の高位平準化を図り産地基盤を強化します。

## ～推進品目や産地づくりの方向～

### ○県内有数の野菜産地の維持・発展

#### 1 新技術導入によるいちご産地の強化

##### 【取組】

- ① 育苗期における病気対策を重点的に指導
- ② 難防除害虫ハダニ対策として、IPM技術の導入
- ③ 新規栽培を目指す若手農業者の育成

##### 【成果】

- ① 健苗育成による安定生産・出荷：127t  
〔R5：134t、R4：147t、R3：140t〕
- ② ハダニ天敵（ミヤコカブリダニ等）の導入：12戸〔R5：10戸、R4：6戸〕
- ③ 新規就農：0戸〔R3～5：各1戸〕

#### 2 高収益品目の導入と産地化推進

##### 【取組】

- ・ 主要品目（すいか、はくさい）の端境期を狙った高収益品目（ラディッキオ）の栽培技術の確立、販促活動によるPR

##### 【成果】

- ・ 栽培状況：6名、3.0ha（春植：0.5ha、秋植：2.5ha）〔R5：5名、1.7ha〕
- ・ 出荷量：15t〔R5：12t〕〔吸水ポリマーの施用方法を実証し、畝処理の効果が安定したが、収量性等は今後も検証を継続〕
- ・ リーフレット作成やメディアでのPR活動を通じ、認知度が向上

#### 3 国営事業で造成された優良農地の保全

##### 【取組】

- ・ 内子地区において国事業を活用し、野菜への転作を推進

##### 【成果】

- ・ 中山間地域総合整備事業（農業用水利施設の老朽化対策等：69,248千円）で整備し、一部で野菜（サツマイモ、ねぎ等）や景観作物を転作



ハダニの天敵放飼でIPM推進



ラディッキオをTVでPR



土壌保湿剤の現地実証調査



冬季シャインマスカットの  
出荷調整



かきの環状剥皮の実施

### ○特色ある落葉果樹の産地力強化

#### 1 シャインマスカット生産基盤強化と冬季販売の推進

##### 【取組】

- ① 未開花症（開花異常）に対する耕種的対策の実施
- ② 地元産直市での冬季シャインマスカット販売

##### 【成果】

- ① 支梗を残した房づくりの実践で収量減を抑制
- ② 高単価販売で認知度が向上 生産額：2.56億円〔R5：2.72億円〕  
出荷量：1.1t〔R5：1.2t、R4：1.1t〕

#### 2 かきの早期出荷、高品質果実生産による産地力向上

##### 【取組】

- ① 刀根早生への環状剥皮・キュアリングの推進、技術講習会の開催
- ② 富有柿の輸出を推進

##### 【成果】

- ① 9月の出荷量の割合：26%〔R5：25% R4：27%、R3：37%〕
- ② 香港向け冷蔵富有の輸出货量：0t〔R3～R5：各2t〕※害虫被害のため

#### 3 キウイフルーツの生産基盤強化

##### 【取組】

- ① かいよう病発生状況調査の実施及び発生・拡大防止対策の指導
- ② 受粉作業の省力化推進

##### 【成果】

- ① 403園地を調査、発生状況を把握（新たな拡大は無し）
- ② 液体受粉の導入面積：46ha〔R5：50ha、R4：47ha、R3：41.3ha〕

## ～地域づくり～

高齢化が進む中、多様な担い手を育成・確保するため、関係機関が連携したサポートチームの活動を拡充し、新規就農研修や受入体制の充実・強化に取り組みます。荒廃農地の解消のため、農地中間管理機構との連携により、担い手農家や農業法人等への農地集積・集約化に向けたマッチング活動を強化します。

さらに、儲かる農業の実現に向け、中山間地域での基盤整備による農地の集約化で生産性を向上させ、省力化や高収益化を図るとともに、地域単位での営農承継を目的とした農業法人が中心となって地域農業の維持・発展を目指します。

## ～推進対象や地域づくりの方向～

### ○就農サポート強化による新規就農者の確保・定着支援

#### 1 就農支援・サポート活動

##### 【取組】

- ・関係市町JAとの就農希望情報の共有・研修受入拡大策検討
- ・研修機関との連携・相談と研修生の指導
- ・個別巡回による技術・経営指導
- ・就農サポートチームによる就農相談・就農後フォローアップ

##### 【成果】

- ・就農研修生数：3人〔R5：3人、R4：4人、R3：5人〕
- ・新規就農者数：10人〔R5：8人、R4：9人、R3：13人〕
- ・新規就農者定着率（3年後）：86%

#### 2 若手農業者育成支援

##### 【取組】

- ① 認定・青年農業者、新規就農者に対するスキルアップ研修実施
- ② 青年農業者が取り組むプロジェクト活動の支援

##### 【成果】

- ① 研修会（農薬の上手な使い方：1/16）、先進事例視察研修会（大阪府：1/29～30）等で、経営改善に必要なスキルを習得
- ② 大洲市及び内子町青年農業者の課題活動を支援、認定・青年合同研修会（2/10）で成果報告



新規就農後のフォローアップ



研修会（農薬の上手な使い方）



青年農業者が荒廃農地を再生



薬用シソの乾燥作業



区画整理施工状況

### ○担い手への農地集積による地域農業の体制づくり

#### 1 荒廃農地再生・流動化の推進

##### 【取組】

- ① 市町との情報共有
- ② 農業法人等へのマッチング活動
- ③ モデル団地における荒廃農地再生活動
- ④ 葉たばこ廃作跡地利用協議

##### 【成果】

- ①② ヤギ放牧による荒廃農地の再生（池田団地：135a）
- ③ 内子町青年農業者が、サツマイモとヒマワリを作付け  
（泉ヶ峠団地：10a）
- ④ 葉たばこ廃作跡地に夏秋きゅうり、ケール等を導入（約1ha）

#### 2 重点地区（野佐来）の活動支援

##### 【取組】

- ① 農業法人への運営支援
- ② 高収益品目の導入検討、選定
- ③ 生産基盤整備の実施と担い手への農地集積を推進  
〔農地中間管理機構関連農地整備事業「野佐来地区」R4～7、  
基盤整備後の農地面積：7.4ha〕

##### 【成果】

- ① 薬用シソ乾燥技術の習得、施設整備・機械化体系の推進
- ② 〔・薬用シソ（30a）、ケール（50a）、ハクサイ（50a）及びラディッキオ（60a）を作付け  
・ソルゴー栽培やすき込みによる土づくりを実施〕
- ③ 換地委員会等による農地整備事業を推進し、区画整理、電柱移転、換地業務を実施：69,035千円

## ○鳥獣被害ゼロへ向けた取組

### 【取組】

- ① 地域ぐるみの対策強化
- ② 防護柵による「守り」、捕獲の「攻め」推進

### 【成果】

- ①
  - 研修会開催（4/16、5/13）、先進事例視察（1/14）等による鳥獣被害の現状把握と対策強化
  - 管内被害額：4,085万円  
〔R5：3,729万円、R4：4,529万円、R3：5,123万円〕
- ②
  - 柿園の複合柵化実証：50a（内子町大瀬中央）
  - ICT捕獲罟実績：6頭  
〔R5：3頭、R4、R3：各13頭〕
  - 有害鳥獣捕獲：イノシシ（R6）5,696頭〔R5年比：144%〕  
中型獣（R6）3,279頭〔R5年比：168%〕



地域ぐるみ対策事例研修



夜市マルシェの開催



産品開発へ向けた協議

## ○地域農産物を活用した6次産業化の定着

### 【取組】

- ① 一次産業女子グループ活動の支援
- ② 6次産業化取組志向農家の育成

### 【成果】

- ① 夜市マルシェ開催（9/7）、先進事例視察（1/23）等による6次化商品開発ニーズの聞き取り及び情報収集
- ② 野菜新規就農者と6次化産品開発に向けた協議：8回

## ○農業生産活動の維持と集落機能強化、農村の防災・減災対策

### 【取組】

- ① 日本型直接支払制度を活用し、農地等の保安全管理に地域ぐるみで取り組む共同活動を支援
- ② 農地地すべり対策施設の長寿命化のため、施設補修等を実施

### 【成果】

- ①
  - 多面的機能支払交付金  
大洲市：6,797千円、内子町：17,428千円
  - 中山間地域等直接支払交付金  
〔大洲市：53,407千円、56協定、368ha  
内子町：67,740千円、63協定、558ha〕
- ② 地すべり手成工区の排水路補修等：12,000千円



集落多面的機能活動（稲刈指導）

## ○県内有数の畜産産地の基盤強化

### 【取組】

- ① 経営体質強化に資する補助事業等の活用を促進
- ② 農家の環境保全・衛生管理の意識や技術向上
- ③ 飼料効率の向上、自給飼料生産拡大を推進
- ④ 畜産担い手に対し、基本技術等における個別指導を実施

### 【成果】

- ①
  - 畜舎等新技术導入補改修：2戸、新資材試験的導入：1資材
  - あかね和牛の肉質や肉量に影響を与える遺伝能力評価：32頭
- ② 畜産環境巡回指導の実施：42農家
- ③
  - 自給飼料生産拡大のための資材支援（種子、ラップフィルム、ネット他）：10戸〔R5：7戸、R4：12戸〕
  - 自給飼料において、ヨトウ対策調査指導等の実施（農家3戸で調査を継続）
  - 自給飼料（飼料米、稲わら）の利用面積  
飼料米：73.4ha〔R5：64.5ha、R4：59.1ha、R3：53.4ha〕  
稲わら：27.6ha〔R5：26.9ha、R4：34.0ha、R3：37.9ha〕
- ④ 農業簿記記帳指導：11回（講習会）



自給飼料の利用推進



農業簿記記帳指導の実施